

スタンドバイの動画を使った『SOS の出し方教育』学習指導案

対象学年 5 年生

○ つけたい力

【知識・技能】動画から課題を認識し、自分ごととして、SOS を出すことを考えることができる

【思考力・判断力・表現力】SOS を出す方法について、複数の方法を考えることができる

【主体的に学習に取り組む態度】自分の SOS に対する態度について考えることができる

★ 本時の目標

- SOS を出すことの重要性を動画から読み取ることができる
- SOS を出す際の困難について理解し、創意工夫した上で SOS を出すことができる態度を養う

学習展開

分	主な学習活動	指導上の留意点
7	<p>1. 何か困ったことがあったときにだれに相談できるかについて考える</p> <p>困ったとき、誰に、どのように相談できるかについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none">・相談できる相手を書く（ワークシート（1））・SOS を出すプロセスと考え方を考える	<ul style="list-style-type: none">・困ったことがあったときに相談するかを想起させる。・具体的な名前ではなく、「家族」や「先生」などのように書くようにアドバイスをする・学級の状況をふまえ、自分のことではなくあくまでもハルトさん及びマナミさんがどうしたらよいかについて考えることを説明する
15	<p>2. 【動画①】を視聴し、ハルトさんが誰に相談したらよいかについて考える（ワークシート（2））</p> <ul style="list-style-type: none">・ハルトさんが相談したらよいと考える相手と、その人を選んだ相手と、その人を選んだ理由を考える。・ハルトさんが相談するときの心配事について考える（ワークシート（3）） <p>（相手の迷惑になるのではないか、他の人の相談しているのではないかなど）</p>	
15	<p>3. 【動画②】を視聴し、マナミさんが誰に相談したらよいかについて考える（ワークシート（4））</p> <ul style="list-style-type: none">・マナミさんが相談したらよいと考える相手と、その人を選んだ理由を書く・マナミさんが相談するときの心配事について考える（ワークシート（5）） <p>（相談したら秘密が伝わる、本当に信頼できる人に相談したほうがよいなどの意見ができる可能性がある）</p>	<ul style="list-style-type: none">・話し合いがうまく進まないグループにはアドバイスをする
8	<p>5. SOS を出すことができる相手として様々な人たちがあり、その方法も様々であることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none">・まとめとして、「SOS を出すことの重要性」「友達が相談してきたら話を聞く」等について伝える。（ワークシート（6））	<ul style="list-style-type: none">・自分に合った相手や窓口に相談することが重要であることを伝える